

学会記事

◎ 第8回理事会(昭.32.1.18)出席者:平山会長,東,畠山,飯吉,高坂,丸安,中安,逸見,米屋の各理事。議事:1)12月中行事その他報告,2)土木振興対策委員会を設置し,その構成を次のとおりとする。

(委員長)谷口三郎君,(委員)赤木正雄,井上隆根,小沢久太郎,大島満一,金森誠之,金子源一郎,河口協介,黒田静夫,高橋三郎,比企元,町田保,最上武雄,柳沢米吉,山本格,吉田赴の諸君と学会側委員として平山会長,種谷,米田両副会長,東理事,(幹事)中安理事,3)明年度より特別員1級にA,B,Cの3段階をつけることは次回までに具体案を作製再検討のこと,3)第12回年次学術講演会講演数の目標について,4)委員の交代および追加(a.会誌編集委員会竹下春見君渡米のため後任に伊東茂富君,水理部門として坂野重信君を追加,b.日本学術会議内地震工学懇談会委員は第5部からは中原寿一郎君の後任として米田正文君となつたので,本会からは米田正文君に代り岡本舜三君を,矢野勝正君辞任を申出たので,後任に小西一郎君を推薦すること,5)国際学術会議について,6)Prof. C.M. Dukeの講演会開催について米屋理事に一任,7)会誌論文集をApplied Mechanics Review 編集者鷺津氏に寄贈方承認,8)会誌広告料金改定および指定取扱業者の決定については編集委員会で再検討のこと,9)論文集を希望者のみに配付する案は保留研究のこと,10)土木賞委員会からの要望として地方委員本人に限り旅費支給について,11)土木会館建設委員会からの要望について了承,12)土木賞委員会の構成についての意見は昭和32年度に十分検討すること,13)万国地震工学会議を日本に招致することについて,14)会員の入退会承認。

◎ 各種委員会

1. 第8回会誌編集委員会(昭.32.1.29)出席者:糸川,丸安正副委員長,成岡(関西),綱干(中四)両地方委員,林,安藤,針ヶ谷,猪股,森,八十島各委員,深谷幹事,岡本編集部員。協議事項:1)投稿原稿報告,2)原稿審査報告および新規原稿審査委員決定,3)依頼原稿について,4)新講座について,5)土木賞候補論文推せんについて,6)広告について,7)3月号登載予定論文を次のように予定した。

谷口三郎ほか4名:水利科学訪中視察団報告,田原保二ほか3名:代繕橋の模型実験について,ほか1編。

2. 会誌編集小委員会(昭.32.1.8)出席者:糸川,丸安正副委員長,猪股,梅木各担当委員,深谷幹事,岡本編集部員。協議事項:2月号編集につき最終的打合せを行つた(60ページ建)。

3. 会誌抄録委員会(昭.32.1.9)出席者:八十島委員長,嶋,稻田,久野,小池,二階堂(代丸山),西沢,沼

田,野口,堀井,湯浅,渡部各委員,山口幹事,岡本編集部員。協議事項:1)2月号抄録4編(内1編補欠)を決定,2)2月号文献目録を報告,3)その他。

4. 論文集編集委員会各部会(昭.32.1.10)

出席者:第1部会 岡本部長,三浦,安浪,山口,久保の各委員

“2” 本間部長,関,岩塚,林,吉川,岸(代木村)の各委員

“3” 星埜部長,伊丹,市原,白石,福岡の各委員

“4” 佐島部長,春日屋幹事

議事:1)各部会で論文審査報告および新規受付論文の審査,2)各部会で31年度土木賞候補論文の選定について,3)その他。

5. 論文集部会長会(昭.32.1.16)出席者:本間委員長,岡本,星埜,佐島の各部長,久保,林,白石(代市原),春日屋の各部会幹事,徳平幹事。議事:1)各部今の議事について再審議,2)商品宣伝に利用されるおそれのある論文の取扱要項を,本委員会の内規とする。

6. 第10回耐震工学委員会(昭.32.1.14)出席者:沼田委員長,東,岡本,神谷,小西,田原(代),寺島,友永,畠山,平井(代西脇),星埜,村(代),最上,石井の各委員,久保幹事。議事:1)JSC地震懇談会の経過について東委員から説明,2)強震測定委員会について岡本委員説明,3)耐震工学研究事項については,関係方面の研究現状を調査し,密接な連絡ができるように計画すること,4)年1回位シンポジウムを催すよう計画すること,5)C.M. Duke 教授に2月中旬講演願うこと,6)耐震工学研究費の申請。

7. 第1回土木賞委員会(昭.32.1.16)出席者:平山会長,種谷副会長,東,伊藤(令),岡本,国分,沼田,福田,町田,原田,荒井,本間論文集委員長,平井編集部長の各委員。議事:1)会長挨拶ののち互選の結果沼田政矩君委員長に決定,2)論文審査方法,3)土木賞授与方針について,4)その他。

8. 第10回土木会館建設委員会(昭.32.1.17)出席者:金子委員長,町田,五十嵐の各委員,飯吉理事,桜井,角田,下山の各氏。議事:1)建物竣工の時期,2)造園の設計および着工時期,3)移転時期,竣工披露の規模等は学会にて決定することとし,委員会の希望事項について協議した。

9. 第50回コンクリート鉄道構造物委員会(昭.32.1.17)出席者:吉田委員長,国分,大槻(代三浦),宮沢(代高橋),高坂(代小檜山)の各委員,山内,梅木(代天野),宮田,川口,深谷,松本の各幹事。議事:2編-3章はり,36条~40条審議。

9. 第13回水理委員会(昭.32.1.21)出席者:安芸委員長,井口,市浦(代尾形),伊藤,岡田,吉川,坂本,

嶋, 高畑, 竹内, 寺島, 浜田, 林, 本間, 水越(代佐藤), 村, 米元, 池田(代阪部), 岩崎, 石原(代岩佐), 岩垣(代樫木), 田中, 永井, 中安, 近藤の各委員, 米屋幹事, 速水氏。議事: 1) IAHR 第7回総会(本年7月25~31 日リスボンにおいて開催)出席者について, 2) IUGG 総会(本年9月トロントで開催)について, 3) IASH 水文測定器械分科会について, 4) Ippen 教授招請について, 5) 水理公式集委員会中間報告, 6) 学会誌の講座について, 7) 第2回水理研究会講演会について, 8) 中国水利関係資料について。

写真-1 訪中代表団講演会における平山会長挨拶

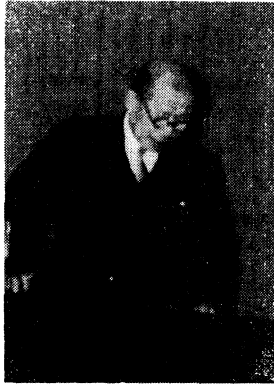


写真-2 同上講演会場



◎ 水利科学訪中代表団報告講演会(昭.32.1.21, 建設省講堂において)平山会長のあいさつについて次のような講演と映画を上映した。参会者約200名で非常に盛況であった。

中国の治水事業(谷口三郎), 中国の水文学

(速水頌一郎), 中国の利水事業(伊藤 剛), 中国のかんがい排水事業(小柳 弥), 新中国の発電水力事業(市浦 繁), 映画: 黄河改造の第一歩(中国寄贈)および石村氏撮影8ミリ記録映画を映写した。

◎ 土木学会ゴルフ会(昭.32.1.30)第2回トーナメントを千葉カンツリー野田コースで挙行, 参加者31名。18ホールズメダルプレーで山田二三男(ネット70)が優勝, 河合毅一君(ネット73)2等賞, 白石俊多君(ネット73)3等賞であった。

◎ 関係学協会の動き

1. 日本学術会議は新会員による初の総会を1月20~22日の3日間開催した(別記ニュース欄参照)。
2. 全日本建設技術協会では昭和32年度公共事業促進に関する意見書を関係のむきに提出した。
3. 都市不燃化同盟では1月31日防火建築帯造成拡大協議会を, 2月1日都市不燃化促進全国大会を開催した。
4. 日本ダム協会設立準備会を1月21日開催したとの報に接した。

支 部 だ よ り

1. 中部支部 第9回幹事会(昭.31.12.11)出席者: 鈴木幹事長外22名, 議事: 1) 研究発表会経過報告, 2) 次回講演会について, 3) その他次期行事について, 第10回幹事会(昭.32.1.8)出席者: 幹事23名, 議事: 1) 次回行事について, 2) その他。

正員 藤川勝久氏(真柄組社員)は金沢市備中町において昭和31年12月6日逝去されました。享年51才, 紙上より深く哀悼の意を表します。

昭和32年1月分入退会報告(昭32.1.1~1.31)

1. 入 会	43名(正12, 准19, 学生12)
2. 退 会	17名(正3, 准13, 特2級1)
3. 転 格	30名(准より正へ28, 正より准へ1, 学生より准へ1)

会 員 現 在 数 (昭32.1.31 現在)

名譽員	賛助員	特別員1級	2級	3級	正員	准員	学生員	合計	増加
20	30	31	75	120	6716	5016	1253	13261	26

昭和32年2月10日印刷

昭和32年2月15日発行

土木学会誌 第42巻 第2号

印刷者 大沼正吉

印刷所 株式会社技報堂 東京都港区赤坂溜池5番地

編集兼発行者 中川一美

発行所 社団法人土木学会 東京都千代田区大手町2丁目4番地

定 価 100 円

振替 東京 16828 番

電話 (20) 3945・4078 番